

## ＜2007年3月期の業績下方修正発表のQ&A＞

昨日、2007年3月期の業績下方修正発表を行いました。株主・投資家のみなさまから受けたご質問から代表的なものにつきまして、以下に公表いたします。

### 記

#### Q1. 下方修正の要因は？

##### A1. <主な要因>

- 1) 次の要因による主力の派遣事業の技術者数の要員計画の未達成。
- ① メイテックとメイテックフィルダーズのキャリア採用（中途採用）の未達成
    - ・ メイテックのキャリア採用（2007年3月期下期）<計画：176名、見通し：107名>
    - ・ メイテックフィルダーズのキャリア採用（2007年3月期下期）<計画：59名、見通し：57名>
  - ② メイテックフィルダーズの退職者数の増加（2007年3月期下期）<計画：110名、見通し：140名>
- 2) 中国人エンジニアの配属の遅れ（2007年3月期下期）<計画：84名、見通し：69名>

#### Q2. 当期の採用状況は？

##### A2. 以下の見込み。

- ① 新卒：2007年4月入社予定、（ ）は前年実績
  - ・ メイテック：229名（282名）
  - ・ メイテックフィルダーズ：125名（167名）
- ② キャリア採用（2006年4月1日～2007年3月31日）
  - ・ メイテック：151名（61名）
  - ・ メイテックフィルダーズ：98名（20名）

#### Q3. 中国人エンジニア派遣事業の進捗状況は？

A3. 計画よりも若干遅れている（A1.に記載の通り）が、2008年3月期からは中国現地の4つの研修拠点すべてが本格的に稼働するので、来期は100名超の受け入れを計画している。3年以内に300名/年の導入体制を構築する予定である。

#### Q4. 連結営業利益が低下している要因は？

A4. 主力の派遣事業では、メイテックは、退社数の抑制のための賃金増によって、原価が増加（2007年3月期の原価率は、69.7%見込み）している。また、メイテックフィルダー

ズとメイテックキャストは、原価率は上がっていないが、営業強化のための先行投資（営業マンの増強と拠点増）のために販売管理費が増加している。また、グローバル事業・キャリアサポート事業は、それぞれ新規事業投資として、年間約 2 億円のコスト増となっている。新規事業については、連結収益に対して、今後も増収には寄与していくが、営業利益に貢献するのは 2 年後（2009 年 3 月期）と予想している。

Q5. 来期見通し（増収・増益）の根拠は？

A5. 以下の通り。

1) 増収要因

- ① 4つのグループ事業のうち、主力の派遣事業、ならびにエンジニアリングソリューション事業・グローバル事業は、2007 年 3 月期においても前年対比で増収の見込みであり、増収基調が継続している。
- ② 主力の派遣事業のうち、メイテックとメイテックフィルダーズは、2007 年 4 月入社予定の新卒採用数の落ち込みを、キャリア採用でカバーしている。（A2. に記載の通り）
- ③ 主力の派遣事業の受注については、一般受注・新卒受注ともに堅調である。

2) 増益要因

- ① 増収による増益見込み。
- ② 2007 年 3 月期に NGI を売却処理したことにより、2007 年 3 月期に発生している 66 百万の営業利益の赤字は、2008 年 3 月期以降は発生しない。

Q6. 当期の配当は？

A6. 期末 45 円、通期 89 円の配当計画に変更はない。

以上